

(様式第1号)(第2条16号関係)

別紙

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称：一般社団法人 しなの福祉教育総研	所在地：長野県上田市上田180-6
評価実施期間： 令和5年9月21日から令和6年1月18日 *契約日から評価結果の確定日(通常、評価結果報告会日)まで	
評価調査者(評価調査者養成研修修了者番号を記載) 050431 B18052 B2020073	

2 福祉サービス事業者情報(令和5年11月現在)

事業所名：(施設名) 小諸市立 美里保育園	種別：保育所
代表者氏名：小諸市長：小泉 俊博 (管理者氏名) 園長：深井優子	定員(利用人数)： 90名
設置主体：小諸市 経営主体：小諸市	開設(指定)年月日： 昭和48年 4月 1日
所在地：〒384-0083 小諸市大字市662-10	
電話番号：0267-22-1687	FAX番号：0267-22-1687
電子メールアドレス：misato@city.komoro.nagano.jp	
ホームページアドレス：	
職員数	常勤職員： 20名 非常勤職員 名
専門職員	(専門職の名称) 看護師 1名
施設・設備 の概要	(居室数) 10 (設備等)

3 理念・基本方針

<p>小諸市立保育園</p> <p>○保育理念 子どもの実態や、子どもを取り巻く環境、卒園後の育ちの見通し、保護者の意向、保育者の願いに基づき、豊かに伸びていく可能性を秘めた子供が、現在を最もよく生き、望ましい未来を創り出す力の基礎を培うために保育を進めます。</p> <p>○小諸市保育目標</p> <ul style="list-style-type: none">・自分を好きになれる子ども・やりたいことをやれる子ども・たくましく心豊かな子ども <p>○美里保育園目標</p> <ul style="list-style-type: none">・夢中になって遊ぶ子ども・心身ともにたくましい子ども

・食べることが好きな子ども

4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

【小諸市の特徴】

- 小諸市は、長野県の東部に位置し、雄大な浅間山や高峰高原、南には千曲川が流れる、豊かな自然に囲まれた情緒溢れるまちです。日本百名城・日本さくら名所 100 選に選ばれている小諸城址懐古園は起源が平安時代とされています。北国街道の宿場町として栄えた街並みが残り、島崎藤村や高浜虚子など多くの文化人にも愛されたまちとしても有名です。
- 小諸市では市の総合計画・基本構想の中で子育て支援を「まちづくりの柱」として位置づけ、様々な取り組みをしています。小諸市子どもセンター「こもろっじ」は、乳幼児が保護者と利用する子育て支援センターと、児童生徒が利用する児童館の機能が揃った小諸市の子育て支援の拠点施設です。また各保育園では保育園を地域の子育てセンターとして活用していただくために育児セミナーを開催しています。その他、病児・病後児保育、離乳食の基本講座動画の発信、健康的な育ちの支援等様々なサービスがあります。

【美里保育園の特徴】

- 美里保育園は市街地の南東、佐久市に近い地域に位置した、落ち着いた住宅街にあります。広い園庭やゆとりある園舎構造に加え、廊下は日当たりがよく気持ちの良い場所となっています。一時保育、育児セミナー、延長保育、障がい児保育、地区高齢者との交流などが定期的に行われ、地域に密着し、愛される園を目指して保育にあたっています。
- 園では畑をお借りして野菜作りをしています。子ども達が実際に種まきや苗植えをして野菜作りをし、野菜の生長に触れられる貴重な体験ができています。それぞれ給食の食材としても利用し、自分達で作った野菜を味わうことができます。お好み献立では年に一回子どもたちが献立を考え活動に合わせたネーミングをする楽しみもあります。
- 園の東側には、ブロッコリー畑が広がっており、休耕期には「遊んでいいよ」と快く言っていて、畑の側の空いたスペースで遊ぶことができます。特に未満児組にとって土や草の上を歩いたりいろいろな発見をしたりできる場所となっており、地域の方に園や子どもたちを大切にしてもらっています。
- 常に保育の質の向上を目指し、園長、主任保育士を中心に職員が一体となって、子どもの最善の利益のため保育にあたっています。また、専門職として看護師が配置されており、子どものケアが行われています。

5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	初 回
---------------	-----

6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

◇特に良いと思う点

【恵まれた環境での保育をしています】

- 園の周囲は、桃やりんご等の果樹園、田んぼや畑があって、四季の移り変わりを作物の成長や収穫などから感じ取ることができます。また、保育士は自然の変化に気づかせるような声がけをし、保育室に自然物や散歩などでの収穫物を飾って五感に働きかけています。自然環境に恵まれた中で、子どもたちは感性を育み、のびのびと育っています。
- 小海線美里駅が徒歩 15 分程の所にあるため、列車を間近に見ることができます。電車の大きさ、音、匂いなどに触れ、小海線という地元の鉄道に関心や愛着が持てるようなきっかけ作りをしています。
- 近くには公園や、田んぼや畑のある沢があり、野の草花や昆虫、小動物が生息しています。子ども達は野の花を摘んで楽しんだり、夢中になって虫探しをしたりと、自然を体中で感じ、手足をいっぱい動かして全身で遊びを楽しんでいます。また、戸外での経験や採集した自然物を絵に描いたり製作に用いたりして表現活動にも生かしています。

【人との関りの中で自己肯定感を育てる保育をしています】

- 「小諸市保育目標」「園の願い」には自分を好きになれる子ども、を掲げています。保育士は子どもの話に根気よく耳を傾け「そうだね」「楽しかったね」などの相槌をうち、子どもの今のありのまま

まの姿を受け入れることを心がけています。

- 年齢に合った活動と共に、好きな遊びを自分で選び、異年齢の友達と一緒に楽しめる環境作りをしています。園庭中に子ども達が広がり、泥んこ遊び、夏祭り、おみこし、運動会ごっこや季節のコーナー遊びなどを通して自然な形で異年齢の交流ができています。
- 子どもたち一人の発達の違いや特性を受けとめ、一人ひとりのよいところに目を向けること、子どもたち同士も互いの違いに気づき認め合えること、を目指して子どもへの働きかけをしています。
- 子どもが達成感を味わうことができるよう「できた」という経験がたくさんできるように心掛けています。年齢や発達の個人差に合わせて目標を定め、できた、ということを繰り返しながら自信を深めていけるよう保育や生活を展開しています。成功体験を増やしていますが、失敗したときにも頑張った「過程」を褒めるようにしています。
- 地域の高齢者の皆さんとの交流を行っています。年長児が地区の公民館に出かけ、ふれあい遊びをして過ごします。子ども達は、高齢者の皆さんが優しいまなざしで温かく受け入れてくれることが嬉しく、人のあたたかさを感じたり、高齢者にとっても子ども達と接することで活力が得られたりとお互いに良い交流になっています。
- 子どもの姿は保護者にもタイムリーに伝え、保育士や親と一緒に喜んだり励ましたりすることを大切にしています。
- 保育士は、主任保育士を中心に、子どもへの支援の在り方、援助はどうあったらよいか等を話し合っています。主任は保育士との話し合いの中で保育士自身の考えを尊重し、適切なアドバイスをしています。

【自主性を育てる保育をしています】

- 保育士は子どもたちが「自分で考える」という経験を積み重ね、子どもの考えや発想、行動を常に見守りながら励ましたり最小限の助言をしたり、と、発達に沿って子どもが自分の意志でできることを増やしています。自分でやりたいことを見つけたり判断したりする→行動に移す、ということができるようサポートの在り方を考え、工夫しながら保育をしています。
- 運動遊びを取り入れ、子ども達が体を動かすことが楽しめるよう、また、自分なりの目標をもって挑戦できるよう活動しています。

◇特に改善する必要があると思う点

- 職員の勤務形態が様々であるため、全員で集まって職員会が開きにくく、伝達等で対応をしていますが、職員の周知に時間がかかったり、時には周知漏れがあったりします。確かな伝達、周知が徹底できるような取り組みが必要です。
- 保護者は協力的で園への理解、感謝、信頼が伺えます。その上で、常に保護者の声を聴き、改善できることは前向きに検討するような仕組み作り、組織的な取り組みを期待します。

7 事業評価の結果（詳細）と講評

- ・ 共通評価項目（別添 1）
- ・ 内容評価項目（別添 2）

8 利用者調査の結果

アンケート方式（別添 3-1）

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添 4）